

## 教員プロフィール

	<p>食物栄養科 教授</p> <p>深 澤 早 苗 (ふかさわ さなえ)</p> <p>Fukasawa Sanae</p>
所属	食物栄養科
学位	学士 (家政学)
資格・免許	管理栄養士 (第 37746 号) 栄養士 (山梨県第 4036 号)
学歴・職歴	<p>&lt;学歴&gt;</p> <p>1985 年 3 月 山梨学院短期大学食物栄養科卒業</p> <p>1994 年 3 月 日本女子大学家政学部食物学科 (通信教育課程) 卒業 (学士 (家政学))</p> <p>&lt;職歴&gt;</p> <p>1985 年 4 月 山梨学院短期大学食物栄養科副手 (1987 年 3 月まで)</p> <p>1987 年 4 月 山梨学院短期大学食物栄養科技術助手 (1989 年 3 月まで)</p> <p>1989 年 4 月 山梨学院短期大学食物栄養科助手 (2002 年 3 月まで)</p> <p>1998 年 8 月 山梨県立高等看護学院保健婦学科兼任講師 (担当科目: 栄養学) (2000 年 8 月まで)</p> <p>2000 年 4 月 山梨県立看護大学兼任講師 (担当科目: 栄養学) (2001 年 3 月まで)</p> <p>2001 年 4 月 山梨県立看護短期大学兼任講師 (担当科目: 栄養学) (2002 年 3 月まで)</p> <p>2002 年 4 月 山梨学院短期大学食物栄養科専任講師 (2005 年 3 月まで)</p> <p>2005 年 4 月 山梨学院短期大学食物栄養科准教授 (2011 年 3 月まで)</p> <p>2011 年 4 月 山梨学院短期大学食物栄養科教授 (現在に至る)</p> <p>2016 年 4 月 山梨学院短期大学教務部長補佐 (2019 年 3 月まで)</p> <p>2019 年 4 月 山梨学院短期大学教務部長 (現在に至る)</p>
担当科目	食事設計実習、栄養教育論、栄養指導実習 (栄・パ)、食品学総論 (パ)、食品学各論 (パ)
専門分野	食教育、食生活
現在の研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の食事づくり力の実態および献立作成力向上のための教育法の検討</li> <li>・栄養教育実践力向上のための「模擬授業」実施後評価に関する調査研究</li> <li>・栄養士養成の卒業時の質保証に関する「専門的実践力外部試験」の試み</li> </ul>
競争的資金等の研究課題	なし
所属学会	日本栄養士会 日本栄養改善学会 日本食育学会 日本家政学会
メッセージ	<p>本学は、職業や実生活に直結した実践的な教育の場であります。技術の習得とともに、自己の内面を磨く期間にしてほしいと願っています。また、地域と連携して様々な活動を行っていますので、体験を通して、企画力や指導力を身につけてほしいと思っています。</p>

教育	
2020年4月～2021年3月	
教育方針	<p>自己の食経験は、献立作成に大きく影響を与える。本短期大学での2年間がさまざまな食材に触れる、食す、理解を深める学びの場となり、献立づくり力を有する栄養士を養成したい。</p>
授業	<p>授業の工夫</p> <p>&lt;食事設計実習&gt;オンライン授業</p> <p>栄養士の主要業務である献立作成のスキル習得を目指す教科である。15回の授業を通して1日分の献立作成を手順にそって学んでいける授業内容としている。授業の開始時には、前回の授業内容についての復習テストを行い、知識や技術の定着を図っている。管理栄養士の経験を生かして、献立の立て方や調味の工夫、食事摂取基準の充足方法等、事例を多く取り入れた授業を行っている。</p> <p>本授業では、授業内容にそって章を組み立てた自費出版のテキストを用いている。2020年に日本人の食事摂取基準が改定され、それに合わせてテキストを改編した。授業回ごとに進めていく構成になっているので、学生にとって非常にわかりやすく、活用しやすいものになっている。また、このテキストは、他の複数におよぶ栄養士専門教育科目でも使用されている。</p> <p>本年度は新型コロナウイルス感染症対策によりオンラインでの授業となった。講義は音声付きのPPを毎回提供した。1回のPPは15～20分程度で区切り、各回4～5つのコンテンツを用意した。PPの最後には小テストを入れて、到達度の確認を行えるよう工夫した。チャットを用いて質問コーナーを随時設け、学生の学びに対応した。提出物はWebclassのメール機能を活用した。作成した献立を写真で送ってもらい、添削をメールで返信するを繰り返し、学生との相互のやり取りを行った。オンライン期間中、2回の対面授業を設定し、それまでの講義内容に関する質問時間を設けた。</p> <p>&lt;栄養教育論&gt;オンライン授業</p> <p>本年度は新型コロナウイルス感染症対策によりオンラインでの授業となった。講義は音声付きのPPを毎回提供した。1回のPPは15～20分程度で区切り、各回3～4つのコンテンツを用意した。1回分のPPを視聴した後には、そのPPの復習となる（ ）の中に語句を入れる学修ワークシートを行わせた。専門用語の理解を深めさせるため、ワークシートの回答のみをWebclassのから提出させた。授業後の授業評価アンケートでは、この方法がとてもよかったという評価を得た。授業時間では随時チャットを用いて質問コーナーで学生の学びに対応した。</p> <p>本授業の特徴である栄養教育教材の作り方や演じ方については、ゲストスピーカーを招き、実際に教材を作る時間を設定した。行動科学理論を用いた栄養教育の学びについては、行動科学理論を理解するために具体例を通して学べるワークシートを作成した。</p> <p>本教科では、栄養士実力認定試験の科目であるので、毎回の授業に私用した学修ワークシートは、認定試験前の学習教材ともなっている。</p>

教育（つづき）		
2020年4月～2021年3月（つづき）		
授業（つづき）	授業の工夫（つづき）	<p>&lt;栄養指導実習&gt;</p> <p>食事調査の実際を学ぶために、自分自身の食事調査を秤量法で行わせている。また、栄養指導（教育）を効果的に行うための技術の習得をめざし、4人程度のグループを組み、栄養教育の対象者設定から計画立案、指導案作成、教材作成等の一連の過程をグループ活動で学ばせている。模擬練習のあと、全員の前で模擬授業を行わせ、自己評価や受講した学生の評価の分析、改善策の検討につなげている。</p>
	授業改善のための取組	<p>授業終了後に実施する「授業評価アンケート」を丁寧に分析し、とくに教育目標の達成度が低いものについては、授業方法や配布資料の見直し・修正を行っている。また、自由記述事項にあげられた内容については、次回の授業改善に活かしている。担当する授業科目「食事設計実習」や「栄養指導実習」に関連する「献立作成力に関するアンケート調査」、「模擬授業実施後の評価－学生の栄養教育実践力向上のための課題の検討－」の研究を行い、得られた結果を授業改善に活かしている。</p>
ゼミ	ゼミ活動（卒業演習）（修了研究）	<p>NPO 法人甲州元気村や JR 東日本、山梨学院大学等と合同で、「天空かぼちゃ祭り」の企画・運営に携わっている。</p> <p>食育推進計画にある若者世代の栄養改善のために、「3・1・2 お弁当箱法」を用いた栄養教育に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、学習会まで実践した。</p> <p>食物アレルギーの対応レシピ作成にも取り組んだ。卵・乳・小麦除去の簡単にできる料理やおやつメニューを開発した。</p>
	卒業レポート・修了研究テーマ	<p>&lt;卒業レポートテーマ&gt;</p> <p>「3・1・2 弁当箱法」を持ちた栄養教育実践－何をどれだけ食べたらよいかを育てる食育－</p> <p>簡単に作れる食物アレルギー対応レシピ作成－乳・小麦・卵を除去した料理とお菓子－</p> <p>「天空かぼちゃ祭り」における食育推進活動報告－天空かぼちゃを持ちた料理開発と祭りの運営－</p>
課外活動	記載事項なし	

## 教育（つづき）

2020年3月以前

主な教育業績

- 2010年度卒業演習で、ゼミ学生がVFK U-18 サッカー選手の食べる力や選ぶ力を育てる食育活動を行った。この活動は、山梨学院春季チャレンジ制度に採択された。
- 2010年度卒業演習で、ゼミ学生がYGJC 食育応援隊を2つのゼミで編成し、朝食の摂取推進や地域食材を活用したレシピ提案等を行った。この活動は、山梨学院秋季チャレンジ制度に採択された。
- 2013年度卒業演習で、ゼミ学生がクアアンドホテルから依頼を受け、ホテルで提供する新デザートの商品開発に携わった。
- 2013年度卒業演習で、甲斐市役所から依頼を受け、ファミリー食育教室で使用する栄養教育媒体の制作および提供を行っている（現在に至る）。
- 2014年度卒業演習で、ゼミ学生が株式会社いつみ家から依頼を受け、自社製品（レバー）を活用したレシピ提案を行った。
- 2015年度卒業演習で、ゼミ学生が株式会社セルバと連携し、月替わりのお弁当の企画・提案を行い、数多くの商品が販売された。
- 2016年度卒業演習で、ゼミ学生が厚生労働省の「健康寿命を支える健康な食事の普及」を発表を受け、健康な食事の基準にあわせた献立提案を行った。この活動は、山梨学院秋季チャレンジ制度に採択された。
- 2016年度卒業演習で、ゼミ学生がNPO法人甲州元気村と連携し、甲州天空かぼちゃ祭りの企画および運営、かぼちゃ料理の提供等、天空カボチャの普及活動を行っている（現在に至る）。
- 2017年度卒業演習で、第73回国民体育大会冬季大会スケート競技会山梨県実行委員会から依頼を受け、リーフレットに掲載する山梨の食材を使った献立の提案、写真撮影協力を行った。このリーフレットは、山梨県内の飲食業者に広く配布された。
- 2018年度卒業演習で、山梨県後期高齢者医療広域連合から依頼を受け、「我が家の一品レシピ」入賞作品を献立として整え、さらに写真撮影協力も行っている。このリーフレットは、山梨県内の高齢者世帯および道の駅等で配布された。
- 2019年度卒業演習で、NPO法人山梨県スポーツアカデミーと連携して、フィールドホッケークラブに所属する小・中学生男女を対象に、食育教室および親子料理教室を行った。この活動は、山梨学院チャレンジ制度に採択された。

研究		
2020年4月～2021年3月		
タイトル(単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(著書) 給食経営管理テキスト第4版(共著)	2021年3月	株式会社学建書院 担当部分:「学校」(pp214～223)
(学術論文) 女子短期大学生の「日本型食生活」に対する意識と食生活状況との関連(共著)	2021年3月	山梨学院短期大学研究紀要大41号
(学会発表) 短期大学生の「日本型食生活」に対する意識と食生活状況(共著)	2020年6月	第8回日本食育学会
2020年3月以前(主なもの)		
タイトル(単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(著書) 給食経営管理テキスト第3版(共著)	2019年3月31日	株式会社学建書院 ・担当部分:「学校」(pp.220-228)
(学術論文) 栄養士養成課程の「栄養指導実習」における模擬授業の効果ーテキストマイニングの手法を用いた自由記述内容の分析ー(共著)	2020年3月	山梨学院短期大学研究紀要第40号
(学術論文) 給食運営実習における献立作成力に関する研究ー学生献立と施設献立の比較ー(共著)	2017年3月	山梨学院短期大学研究紀要第37号
(学術論文) 栄養士養成施設に在籍する学生の献立作成力に関する要因の検討(共著)	2016年3月	山梨学院短期大学研究紀要第36号
(学術論文) 保育所給食における食物アレルギーに対する取り組み状況(共著)	2015年3月	山梨学院短期大学研究紀要第35号
(学術論文) 高校生の朝食摂取状況と生活習慣および食意識・食行動との関連について(共著)	2014年3月	山梨学院短期大学研究紀要第34号
(学術論文) 女子短大生の健全な食生活に対する配慮と食生活状況、生活習慣、健康状態、食生活の満足度との関連(共著)	2013年3月	山梨学院短期大学研究紀要第33号
(学術論文) 家庭の食生活環境と学校の給食調理方式が中学生の食意識・食行動、給食に対する評価及び健康状態に及ぼす影響(単著)	2007年11月	日本家政学会誌第58巻11号

研究 (つづき)		
2020年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：学会発表) 栄養指導実習の模擬授業実施後における自己評価の自由記述の「用語」分析 (共著)	2019年9月	第66回日本栄養改善学会
(その他：学会発表) 栄養士養成校における「卒業時の質保証の強化」を目的とした外部評価試験の充実に向けて (共著)	2019年9月	第66回日本栄養改善学会
(その他：学会発表) きのこの嗜好性及び調理法に関する調査－地域特産物(干しいたけ)の消費促進の方策－ (共著)	2019年6月	第7回日本食育学会
社会貢献		
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等		
2020年4月～2021年3月		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養教諭等免許更新講習講師 (2015年～現在に至る)</li> <li>・ 民間保育士等キャリアアップ研修講師 (2021年)</li> </ul>		
2020年3月以前 (主なもの)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山梨県幼稚園等新規採用教員研修会講師 (2016年～現在に至る)</li> <li>・ 子育て支援事業「親子体験講座 (親子でクッキング)」講師 (2014年～現在に至る)</li> <li>・ 子育て支援事業「親子体験講座 (親子でおやつをつくろう)」講師 (2018年～現在に至る)</li> <li>・ すみれ保育園保護者学習会講師 (2016年)</li> <li>・ 山梨県栄養士会・Jミルク主催栄養指導実践セミナーワークショップファシリテーター (2016年)</li> <li>・ 国母地区各種団体連絡協議会講演会講師 (2015年)</li> <li>・ 笛吹市・山梨学院提携講座講師 (2015年)</li> <li>・ 中北保健所峡北支所菅愛母子保健地域組織研修会講師 (2010年)</li> <li>・ 富士川口湖男女共同参画推進事業講演会講師 (2010年)</li> <li>・ 市川美郷町立市川小学校親子料理講習会講師 (2010年)</li> </ul>		
受賞 ※個人、所属団体		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国栄養士養成施設協会会長顕彰 (2019年)</li> <li>・ 農林水産省 第3回食育活動表彰「教育関係者・事業者部門消費安全局長賞」(2019年)</li> </ul>		